



概の木

平成26年度大槻小学校学校だより

平成27年 1月13日(火) No.15

教育目標：「じょうぶな体で進んで学び、実行力と思いやりのある子どもの育成」

- ・ 進んで勉強する子ども
- ・ 最後までやりぬく子ども
- ・ みんなとなかよくする子ども
- ・ 元気に運動する子ども

PC <http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0710033>

携帯 <http://www2.schoolweb.ne.jp/weblog/index-i.php?id=0710033>



3学期、気持ちも新たにスタート

1月8日(木)、第3学期がスタートいたしました。8日(木)は、久しぶりに会った友達とクリスマスやお正月などについて楽しく語らう姿が見られました。昨年末、2学期終業式にはインフルエンザでお休みした児童が24名と増加し心配されましたが、連休後の13日時点でのインフルエンザでのお休みも今のところ2名です。これからも体調管理に努め、風邪やインフルエンザにかからないで笑顔で登校できるようにと願っています。

3学期は51日間という短い学期ですが、学年の学習・生活の確実な定着と次の学年に向けて準備する大切な学期です。今年度に学習したことをしっかりと身に付けるように、家庭学習にも力を入れさせていきたいと思います。ご家庭でもご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

子どもたちの安全が基本です。

「雪道での安全な登下校を」

1・2月は、これまで以上に雪が降ることも予想されます。12月も積雪があり、通学路によっては道が狭いところもあり、歩道がないために積雪量によって車道にはみ出してしまう場所も見られます。朝は要所要所をPTA校外補導部や大槻町交通安全協会の方に交通指導をしていただいておりますが、学校でも子どもたちに狭い通学路はこれまで以上に「端を」で「前後左右に注意して」歩行するよう指導してまいります。ご家庭におかれましても、お子さんに指導していただきますとともに、積雪時にはできる範囲で結構ですので近隣の児童が通る通学路の除雪にご協力いただければ大変ありがたいです。



また、低学年の下校時には、防犯パトロールの皆さんが付き添っていただいております。大変ありがたいことと感謝申し上げます。

大槻地区少年の主張(意見発表会)

去る1月10日(土)、JA大槻農協で行われた大槻中央地区新年初顔合わせ会の冒頭で、青少年健全育成推進大槻地区協議会主催の大槻小・大槻中による意見発表会が行われました。本校からは、6年の矢野目さんと佐藤さんの2名が代表として発表しました。二人とも地域の皆さんへの感謝の思いを立派に発表しました。



(素晴らしい内容です。裏面にご紹介いたしますのでお読みください。)

☆ 大槻地区少年の主張(意見発表会) ☆

■ 「つながろう、大槻町」

大槻小学校 6年 矢野目

私の住む大槻町は、緑豊かな住みやすい町です。田畑も多く、私の家でもお米を作っています。地域で行われるクリーン作戦やお祭りに行くと、地域の人達が多く参加するので地域のつながりを感じることができます。しかし、私は、最近あることを知りました。それは、一人暮らしのお年寄り、またはお年寄りだけで暮らしている人達が二百人以上いるということです。私は、驚いたし、とても不安な気持ちになりました。このことは、大槻小学校の六年生が毎年行っている「敬老の日」ふれあい郵便の活動を通して分かったことです。

私達が手紙を出すと、学校に何通かの返事が届きました。その中には「勉強やスポーツを頑張ってください」という私達を応援する温かい言葉や「自転車で出かけるのは楽しいです」という、元気な様子が分かる文もありました。でも「火を消し忘れないか心配です」という少し心配な一文もありました。

また、先日、私たち六年生へお年寄りの方から、しおりのプレゼントがありました。一つ一つ手作りされたそのしおりには、「夢」と「七転び八起」と書かれてありました。このしおりをくださった方は毎年、卒業生のために「本をたくさん読んでくれるように」「中学校になってもいろいろなことに頑張るように」と願いを込めて作ってくださったのだそうです。大槻町に住んでいるお年寄りの方は、私達大槻小学校の子ども達をどう思っているのでしょうか。きっと、自分の孫のように思ってくださっているのだと思います。

これまでも、私達は、地域のお年寄りの方にいろいろとお世話になっています。低学年の時には、下校の時、いつも「見守り隊」の方々が一緒に歩いてくださいました。学校に来て、昔遊びの仕方を教えてくださいました。高学年になって集団登校の班長になると「おはよう。いってらっしゃい。」と毎朝あいさつをしてくださる方もいます。あいさつをしてもらって元気が出ます。やさしい笑顔を見ると、自分もやさしい気持ちになります。今まであまり気づいていなかったけれど、私達は、いつもお年寄りの方々に見守られ、助けられ、励まされていたのです。

これからは、私達が進んであいさつをしていきたいと思います。私がお年寄りからあいさつされてうれしかったように、あいさつをされることは、とてもうれしいことだと思うし、いいコミュニケーションにもなり、地域の絆が深まると思うからです。それから、いろいろな場で、積極的に声をかけたり、困っていたらお手伝いをしたりして関わっていききたいと思います。そして、この大槻町が、お年寄りにとっても住みやすい町になったらいいと思います。

■ 「地域の方々とのふれ合いの中で」

大槻小学校 6年 佐藤

「おはようございます。」「気をつけておいでない。」 近所の方々とのあいさつを交わすことから私の一日が始まります。私達の住む地域は学校から少しはなれているため、地域の方々の力を借りて学校へ行きます。例えば夏の暑い日の下校は、あせをだだらかきながらぐったりして歩いて帰ります。途中たばこ屋のおばちゃんがコップ一杯の水をくれました。もう少しだから頑張って帰るんだよ、と励ましてくれます。水を飲んで元気になったから頑張ろうという気持ちになります。冬、私達の住む地域は、雪が吹きだまりやすく田んぼと歩道の境が分からないほど積もります。そんな時、地域の皆さんがスコップで通学路の雪かきをしてくださいます。雪が止まない日も帰り道に一人一人が歩ける歩幅の雪かきがしてありました。夕方暗くなって田んぼに落ちたら大変だからと近所のおばあちゃんが雪かきをしてくれたと母から聞きました。雪が積もるたびに地域の方々が学校へ行く私達のために雪かきをしいくくださいました。私達が安心して学校へ通えるのは地域に住む皆さんのおかげなのです。

ある時、水神様のお祭りに参加する機会がありました。テーブルには地域の方々が用意してくださったオードブル・おすし・つけ物・おかしが並べてありました。たくさん食べてねと優しく声をかけてくれました。私の家にはおばあちゃんがいなくて地域の方と触れ合うことができて嬉しかったです。最後に区長さんから話がありました。区長さんは私達子供は部落の宝物と言ってくれました。子供達の声が地域に住むお年寄りを元気にしてくれるのだと言ってくれました。私達子供が地域の皆さんにできることはありがとうという感謝の気持ちを持ちながら元気なあいさつをすることだと思います。そして、地域の皆さんに見守られながら成長していることを忘れないことだと思います。

六年間地域の皆さんにお世話になった私も今年の春は中学生になります。お世話になる側を卒業しなくてははいけません。これからは、地域の皆さんのように困っている人がいたらそっと手を差し伸べられる大人になりたいです。そして、地域の行事に積極的に参加して貢献していきたいです。